

介護保険で利用できるサービス

介護保険のサービスは、本人や家族の希望を踏まえて、その方に必要なサービスを調整し(ケアプラン)、それに基づいたサービスを受けられます。
サービスの利用料は、サービスの種類、要介護度に応じて決まっており、かかった費用の1割(所得に応じて2割の場合もある)を利用者が負担し、残りは市町村が負担します。



自宅に住み続けて利用するサービス

要介護状態が軽度の方は、状態の維持・改善の可能性が高いため、ご自分でできることを活かしながら支援する「自立支援」を目的としたサービスが提供されます。



自宅にきてもらう介護サービスの例

■訪問介護

ホームヘルパーによる「身体介護」や「生活援助」。

■訪問看護

看護師による、病状観察・処置・相談援助。



■訪問入浴介護

自宅に介護浴槽を運び入れて入浴介助を行う。

施設に通う・短期入所する介護サービスの例

■通所介護(デイサービス)・通所リハビリテーション(デイケア)
デイサービス・デイケアセンターなどで、食事、入浴等の介護や機能訓練等を提供。送迎あり。

■ショートステイ

施設に短期間(最大30日)入所し、介護や機能訓練を行う。

その他

■福祉用具貸与・販売

福祉用具のレンタルや購入費用の一部を支払う。

■住宅改修

必要な住宅改修費の一部を支払う。



■小規模多機能型居宅介護

利用者の状態や希望に応じて「訪問」「通い」「泊まり」のサービスを提供。

施設などに入所して受けられるサービス

入居前に 十分な 確認を!

高齢者向けの住まい・施設は色々ありますが、元気な方向きで介護が必要になれば退所しないといけない所、要介護の方しか入居できない所、費用の高額な所など入居条件は色々です。また、住居部分と、介護サービスの契約が別になっているところなどもありますので、入居前に十分な確認が必要です。

介護保険で利用できる施設の例

■特別養護老人ホーム

費用:低~中

介護度が重度の方にも対応。(要介護3以上が対象) 最期まで入居可。



■介護老人保健施設

費用:低~中

自宅復帰を目指し、リハビリ等を行う施設。自宅復帰ができる状態になると退所。

■グループホーム

費用:中~高

認知症の方を対象に、家庭的な環境の中、日常生活の支援を行う。

■介護療養型医療施設

費用:低~中

長期療養が必要な方を対象に看護・介護を行う医療施設。

■有料老人ホーム

費用:中~高

介護付き、自立の方専用等種類が豊富。費用面も中程度から高額な所まで幅広い。



いずれの施設もかかる費用として●介護サービス費(要介護度による) ●食費 ●居住費(部屋のタイプによる) ●日常生活費が必要です。薬代、おむつ代等「介護サービス費に含まれるもの」は施設の種別によって違います。

※費用欄は、同じ介護度、所得状況の方が入所する場合の目安ですが、個々の施設によって差があります。